

「Osaka Metroにおける自動運転の取り組み」

2023年2月15日

大阪市高速電気軌道株式会社

万博における自動運転の取り組み

万博会場内外で、新技術の実証実験を実施

会場内

35台の小型EVバスを終日運行 ⇒ うち4台は自動運転車両を導入予定



提供：2025年日本国際博覧会協会

会場外

大型EVバスを用いた会場へのピストン輸送実施に向けて協議中 ⇒ うち6台は自動運転車両を導入予定

自動運転技術確立に向けた取り組み

2025年大阪・関西万博における自動運転レベル4での運行に向けて、これまで実証実験を複数回実施するとともに、2023年度以降は**自社で調達した自動運転車両及び遠隔監視システムを用いて**、万博を想定したルートにおける実証実験を実施するというサイクルを繰り返していく。

2022年12月

テストコースにおける信号協調を用いた
無人運転走行（自動運転レベル4）実証実験【インフラ協調有】

日本初！



2022年3・4月

テストコース及び公道における自動運転レベル2
複数台・車種の遠隔監視の実証実験



2020年1月

大阪湾バイエリア公道で自動運転レベル2 信号協調の実証実験



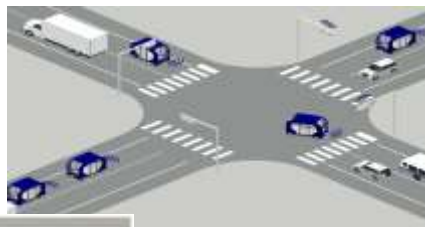
2019年12月

グランフロント大阪（閉鎖空間）で自動運転レベル4相当の実証実験

大阪初！



自動運転実装と万博までのロードマップ



万博後：2025年～

万博のレガシーを活かして、進化した交通サービスを大阪の交通サービスに実装し、都市の活性化に貢献

万博時：2025年

試行を重ねた自動運転技術を披露する場とし、その価値を広く世界に訴求

2022年12月

テストコースにおける信号協調を用いた無人運転走行（自動運転レベル4）実証実験の実施

2022年3・4月

テストコース及び公道における自動運転レベル2複数台・車種の遠隔監視の実証実験

2020年1月

大阪湾バイエリア公道で自動運転レベル2 信号協調の実証実験実施

2019年12月

グランフロント大阪（閉鎖空間）で自動運転レベル4相当の実証実験を実施



【行政との連携】

- ・路上駐車車両の取り締まり強化
- ・専用レーンの整備（公共交通）
- ・インフラ協調
（信号・車両や歩行者などの利用状況）

◆今後の予定

| 概要 | 2022年度 | 2023年度 | 2024年度 | 2025年度 | |
|---------|--------------------|-----------------------|---------------------|---------------|-------------|
| マイルストーン | フェーズ① 自動運転技術の確立 | | フェーズ② 技術・サービスの確立 | フェーズ③ 最終調整 | フェーズ④ 実装 |
| 実証実験等 | 舞洲実証 | 舞洲実証 車両・システム 調達 | 舞洲P&R | 舞洲P&R 万博会場 | 万博 |